

## 普及活動情勢報告（令和6年12月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

### 楽しく使って！～赤野集出荷場園芸女性部SAWACHIログイン講習会～



SAWACHIの活用を説明する普及指導員と自分の携帯電話で確認する参加者

12月3日、赤野集出荷場園芸女性部は出荷場会議室でSAWACHIログイン講習会を開催し、関心の高い部員6名が参加しました。農業改良普及課は、事前の登録申請手続きや当日の登録、登録後の活用方法の説明や操作補助を行いました。参加者は携帯電話で実際にSAWACHIニュースや気象情報、出荷データや収量目標の設定などのメニューを確認しました。

参加者からは「夫より自分の方が使いこなせそう！」「SAWACHIニュースは面白いね」「出荷量の変動が数値やグラフで確認できるし、目標収量が設定できるのはえいねえ」と言った声が聞かれました。

農業改良普及課はSAWACHIを活用した農業経営の改善や意欲向上を引き続き支援していきます。

### 厳寒期に向けた情報交換～安芸地区園芸研究会米ナス現地検討会～



環境データなどを確認する生産者

12月6日に安芸地区園芸研究会米ナス現地検討会が開催され、5名の生産者が参加しました。視察したほ場では、整枝摘葉方法、防寒対策について意見交換が活発に行われました。

農業改良普及課からは、SAWACHIからハウス内環境を見ることで黒枯病対策ができることを説明し、参加者のSAWACHIに再ログインを促すことができました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会等でSAWACHIを活用した病害虫発生対策を紹介し、増収に向けて支援します。

### 世界の農業情報を知ろう！～スペイン農業の視察報告～



スペイン農業に対する所感を述べる普及指導員

12月11日、JA赤野集出荷場で行われたJA赤野支部園芸部研究会勉強会にて、普及指導員2名とJA営農指導員1名が、11月に行ったスペイン農業視察の報告を行いました。

会には農家16名を含む27名が参加し、「指導体制やハウスの仕様はどのようなものなのか?」、「規模拡大は容易にできるのか?」など、多くの質問が投げかけられ、農家の関心の高さが伺えました。

今後、農業改良普及課は、スペイン農業を参考に安芸地区でも取り組めることはないか、視察参加者とともに検討していきます。

## 産地を支える担い手の育成に向けて～ポンカン雇用就農者への収穫作業指導～



収穫作業現場

農業改良普及課室戸支所では、ポンカンの大規模栽培農家の雇用就農者を対象に、主要な作業管理技術の向上のために、定期的に巡回指導を実施しています。

12月11日は、雇用就農者1名に、収穫時の注意事項である果実へのハサミ傷を減らすための二度切りの徹底や、高所作業における脚立の安全な使い方などを指導しました。就農者からは「二度切りの重要性や脚立の安全な使い方について改めてわかった」との声がありました。

室戸支所は、雇用就農者の作業管理能力向上のために、剪定や防除などの作業について指導します。

## なぜ IPM（総合的病害虫管理技術）が重要なのか～外国人従業員向け IPM 研修～



IPMの考え方を説明する  
普及指導員

12月13日にピーマンの栽培現場で働く外国人10名を対象に、座学にてIPM研修を実施しました。農業改良普及課は、研修会開催の提案や当日の講師を務めました。

参加者からは、防除のタイミングや害虫と天敵昆虫の見分け方が難しい等の質問がありました。

農業改良普及課は、今回の質疑応答を受け、今後は現場での判断に活用できるツールとして、害虫・天敵昆虫の写真集を作成し、IPMの取り組みを支援していきます。

## 南海トラフ地震への対策はできていますか？～古い重油タンクの巡回確認～



農家に説明する普及指導員と市職員

管内では、地震等でのタンク倒伏による重油流出事故に備えて、流出防止装置付きタンクへの更新や防油堤の設置を日頃から呼びかけており、今年度は取り組みが進んでいない地区を重点地区に定め、安芸市やJAとともに12月9日から17日にかけて、約30戸の農家に啓発活動を実施しました。

ほぼ全ての農家から、「前々から気になっていたが、巡回の機会に申し込む」や「前向きに検討する」との声が聞かれました。

今後もより一層重油タンクの更新、安全対策が進むよう、農業改良普及課は関係機関と連携して、啓発活動を実施していきます。